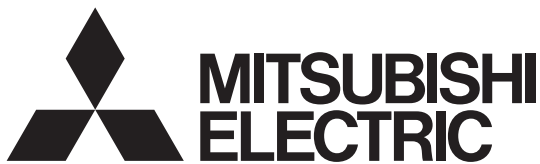




1902876HA4703



三菱HEMS対応

ロスナイ® セントラル換気ユニット 住宅用

形名

VL-11ZFHV-HM

据付説明書

販売店・工事店様用

- この製品は住宅専用です。それ以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品は24時間換気システムとしてご使用ください。
- この製品は三菱HEMSと組み合わせて使用し、同梱の三菱HEMS接続ユニットは情報収集ユニットからの有線通信をロスナイセントラル換気システムへ伝えるものです。情報収集ユニットとの接続方法・設定方法は、三菱HEMS(HM-STO3-E、-W)据付工事説明書をご覧ください。
- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書および三菱HEMS(HM-STO3-E、-W)の据付工事説明書をよくお読みください。
- 据付けは販売店様、または専門の工事店様が実施してください。間違った据付けは、故障や事故の原因になります。
- お客様ご自身での据付けは、故障や事故の原因になります。
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。
(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

もくじ

ページ



安全のために必ず守ること……	1～3
据付例……	4
外形寸法図……	4
据付方法……	5～10
据付工事後の確認と試運転……	11～12
お客様への説明……	12

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。









本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



 禁止	 浴室取付禁止
 分解禁止	
 水ぬれ禁止	 指示に従う

安全のために必ず守ることつき

警告

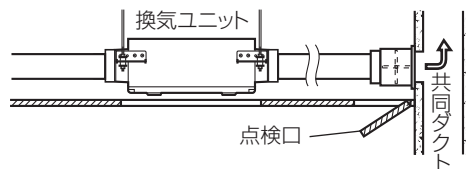
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。 ●心臓ペースメーカーを装着されている方が利用する可能性のある場所では、本製品を据付けない ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれや、事故の原因。 ●医療用電気機器の近くでは、本製品を据付けない 医療用電気機器の誤動作による、事故の原因。 ●自動ドアや、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品を据付けない 機器の誤動作による、事故の原因。 ●三菱HEMS以外に使用しない 火災・けがの原因。 	 <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●設置後、長期間使用しない場合は、必ず分電盤ブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
 <p>水ぬれ禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。 	 <p>分解禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。
 <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災・感電や回路基板破損の原因。 ●外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気を取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 ●本体の設置は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。 ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。 ●指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造営物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように据付ける 漏電した場合発火の原因。 ●端子台カバーは電気工事後、必ず閉める ほこり、湿気などの侵入による、漏電・火災の原因。 ●ダクト配管のはずれがないよう市販の固定バンドやアルミテープ等を用いて固定し、本体からの屋外側ダクトは、屋外に向けて1/30以上の下りこう配（雨水・雪浸入防止）になるように据付ける 雨水の浸入による感電・火災や家財破損の原因。 	 <p>浴室取付禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い所には、本体および壁スイッチを取付けない 感電・漏電の原因。
 <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電する原因。 	 <p>アース確認</p>	

注意

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●天井据付け専用です。壁には据付けない 落下によるけがの原因。 ●寒冷地(次世代省エネ基準 1(Ia)、2(Ib)地域)には据付けない パネル表面に水が付着し、製品本体から水が滴下する原因。 ●下記の使用条件を超える地域・場所には取付けない 外気温度：-10~40℃ 本体周囲および還気温湿度：0℃~40℃、相対湿度80%以下かつ 最低外気温度条件（-10℃）にて露点温度10.7℃（20℃、相対湿度55%相当）となる絶対湿度以下 使用条件を超えた場合、結露水が滴下することがあります。 ●製品を置く際に、落としたり投げたりして衝撃を与えない 製品内構造物の破損による風漏れ・水漏れの原因。
 <p>指示に従う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●設置の際は手袋を着用する けがの原因 ●本体およびダクト配管は断熱層・気密層の室内側に設置する 断熱層の室外側では、熱回収した空気温度の低下や、ドレンや結露などにより天井を濡らす原因。 ●部品の取付けはねじれ、変形が無いように確実に 落下によるけがの原因。 ●本体から屋外へ向かう給・排気ダクト（OA・EA）および室内へ向かう給気ダクト（SA）の断熱は必ずパイプ接続口の根元まで行う 冬期露出部分が低温になるため、室内湿気による結露発生により天井を濡らす原因。

規制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーおよびその点検口を必ず設けてください。
- システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- ジャバラ・不燃ダクトの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。



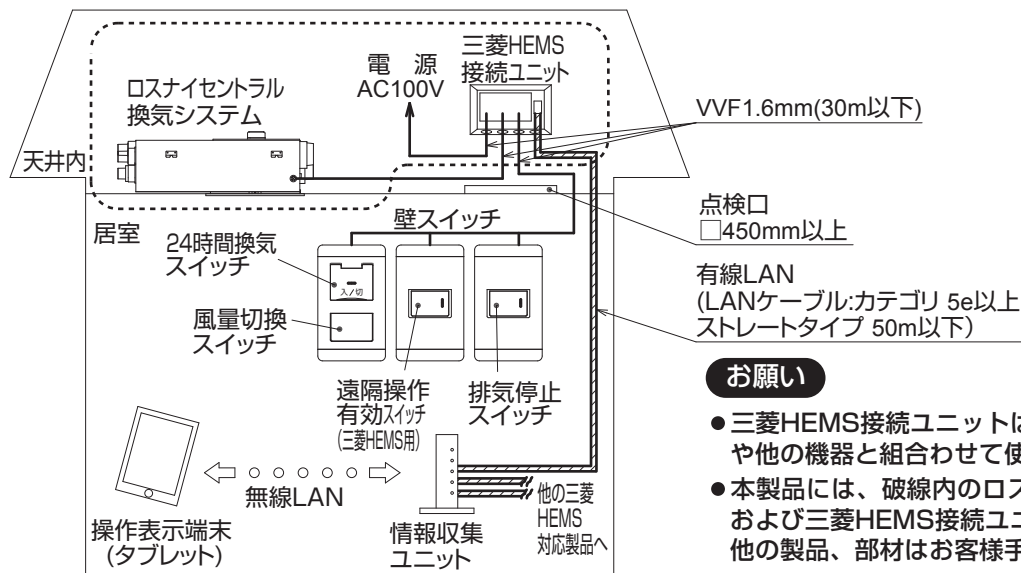
お願い

- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 給・排気グリルは反響しにくい場所に設置してください。（騒音問題の原因）
- 寒冷地あるいは風の強い地域では、運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動シャッターを設けることをおすすめします。
- 霧の多く発生する地域ではフィルターボックス（別売）の使用をおすすめします。使用しない場合、製品から水が滴下することがあります。フィルターボックス（別売）はメンテナンスが可能な位置に取付けてください。
- 換気ユニットの給気側フィルター（外気清浄フィルター）は質量法による捕集効率が82%です。このため一部の粒子や虫などが通過する場合があります。換気ユニット給気側（OA）と外気取込フードの間にフィルターボックス（別売）を設置するか、粒子や虫が侵入しないように捕集効率がより高い高性能除じんフィルター（別売）を設けることを推奨します。
- 屋外フードの位置は給気・排気が混ざらないようダクト貫通穴径の3倍以上離してください。（450mm以上の距離をとることが望ましいとされています）
- 本体は寝室の近くに設置しないでください。低騒音設計になっていますが、就寝時はわずかな音でも気になります。（騒音問題の原因）
- 建物の騒音値が30dB(A)を下回ることが予想される居室（寝室等）は、給気側に消音性のあるダクトや部材（P-05SDF等）をご使用ください。（本体の騒音がダクト内で共鳴し、吹出口からの異常音の原因）
- 三菱HEMS接続ユニットの点検口は□450mm以上のものを使用し、所定の位置に取付ける。（点検口のズレなどによりメンテナンスができず、やむをえず点検口を広げるなどの追加工事が発生する場合があります。追加工事にかかる費用は工事店様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）
- 製品本体や配管したダクトは、点検口・天吊ボルト・床固定ボルト・他のダクト配管等へ接触させないでください。（異常音、振動の原因）
- 給・排気ダクトの先端には、雨水、雪、小動物（こうもり等）が侵入しにくい屋外フードを選定してください。（小動物の侵入には、ガラリーの幅が2cm以下（P-13VA3等）の屋外フードを取付けてください）
- 室内側ダクトを2本以下で使用しないでください。
- フィルター清掃が必要なため、本体は掃除のしやすい場所に設置してください。
- 本体を据付けるまで床置きする場合は梱包ダンボールの上に置き、直接床に置かないでください。モーター部分が突起しており、床の損傷やモーターの破損の原因となります。
- この製品はダクト接続部が発泡スチロールで構成されております。据付時の破損にはご注意ください。
- 下図のようなダクト配管はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因）



- 三菱HEMS接続ユニットは本機器専用です。他の機器と組合わせて使用することはできません。

三菱HEMSシステム概要図



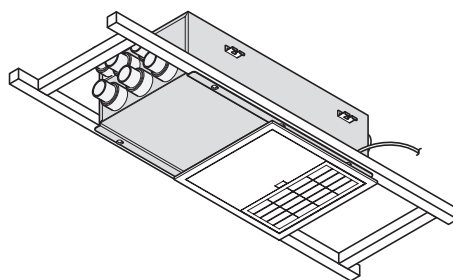
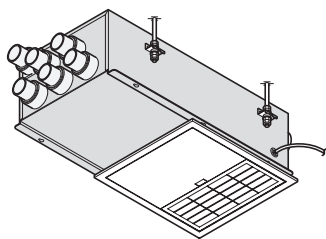
お願い

- 三菱HEMS接続ユニットは本機器専用です。複数台運転や他の機器と組合わせて使用することはできません。
- 本製品には、破線内のロスナイセントラル換気システムおよび三菱HEMS接続ユニットが含まれています。その他の製品、部材はお客様手配となります。

据付例

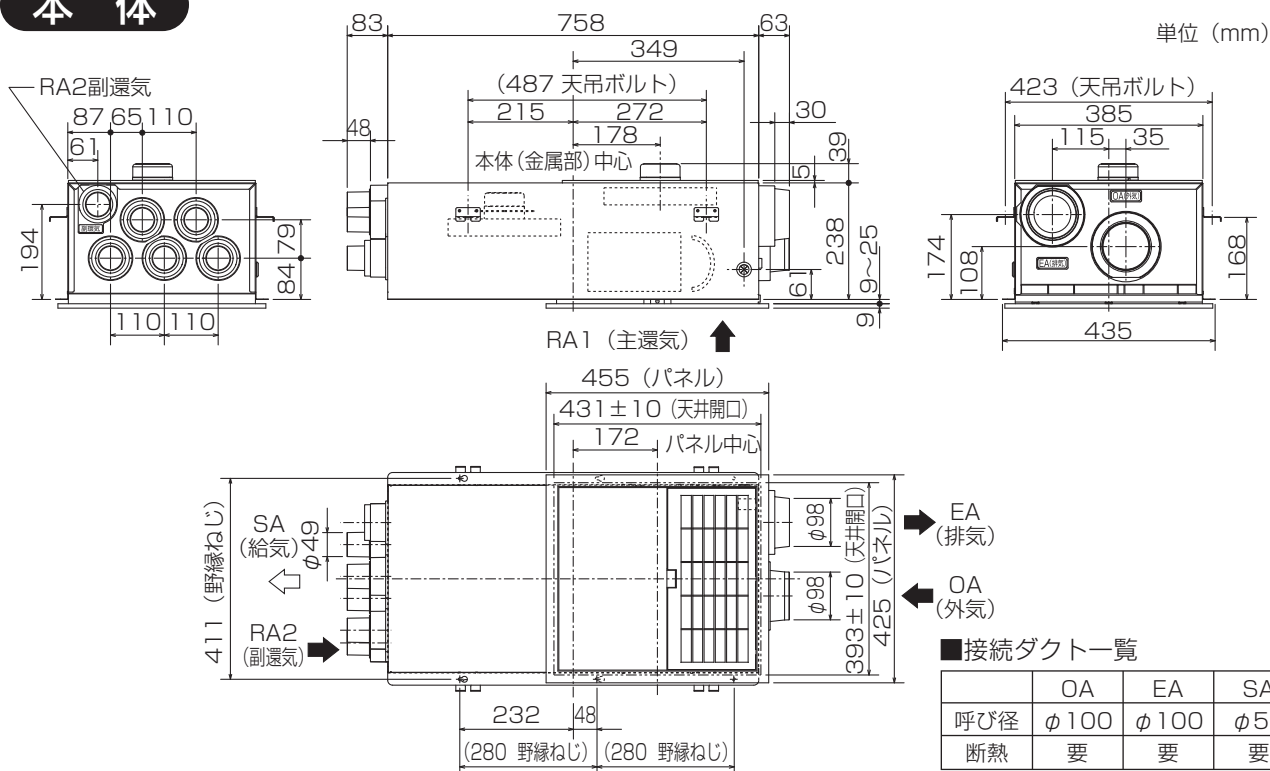
吊りボルトで吊り下げる場合

野縁木枠に据付ける場合

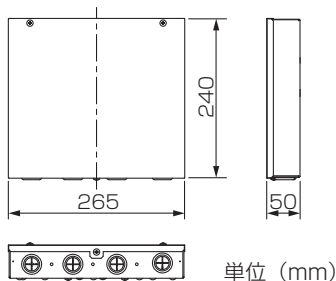


外形寸法図

本体



三菱HEMS接続ユニット

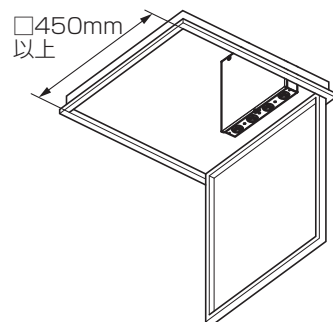


点検口

- メンテナンスのため必ず点検口を設置してください。
- 点検口サイズ：□450mm以上
点検口から三菱HEMS接続ユニットが取りはずせる範囲に設置してください。

お願い

- 点検口は□450mm以上のものを使用し、所定の位置に取付ける
点検口のズレなどによりメンテナンスができず、やむをえず点検口を広げるなどの追加工事が発生する場合があります。
追加工事にかかる費用は工事店様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。



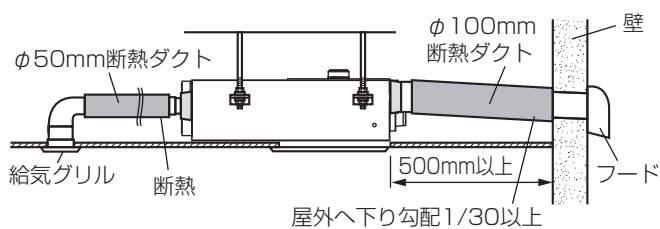
付属部品

キャップ……………1個 	ワッシャー……………8個 	
取付金具……………2個 (三菱HEMS接続ユニット用) 	コードバンド……………3個 (三菱HEMS接続ユニット用) 	壁スイッチ用シール ……………2枚

据付方法

据付位置決め

据付位置・壁穴位置を決める



注意

- 本体およびダクト配管は断熱層・気密層の室内側に設置する
断熱層の室外側では熱回収した空気温度の低下や結露の発生により天井を濡らす原因

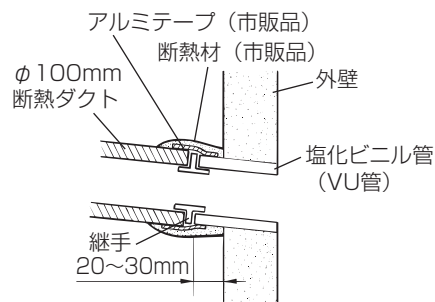
ダクト工事

壁の給・排気穴から本体のダクト接続口位置までのダクト配管 (例)

- (1) 外壁に埋め込んだ塩化ビニル管 (VU管) に継手 (別売) を接続する。

お願い

- 外壁にVP管が埋め込まれている場合は、VP管用の継手 (市販品) を使用してください。
- (2) φ100mm断熱ダクトを継手に接続し、市販のアルミテープで固定する。
- (3) 吹き付け式またはテープ式の断熱材 (市販品) を接続部に施す。



注意

- 室外側および室内給気側ダクトには必ず断熱ダクトを使用し、ダクトの断熱は必ず根元まで行う
冬期露出部分が低温になるため、室内湿気による結露発生の原因
- ダクト配管のはずれがないよう市販の固定バンドやアルミテープなどを用いて固定し、本体からの屋外ダクトは、屋外に向かって1/30以上の下りこう配になるように据付ける
雨水の浸入による感電・火災や家財などを濡らす原因

吊りボルトで吊り下げる場合

吊りボルトの埋め込み

- 市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。(外形寸法図の (天吊ボルト) を参照)

お願い

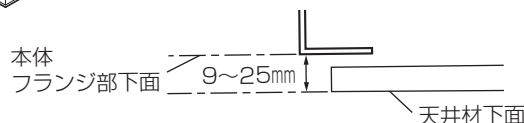
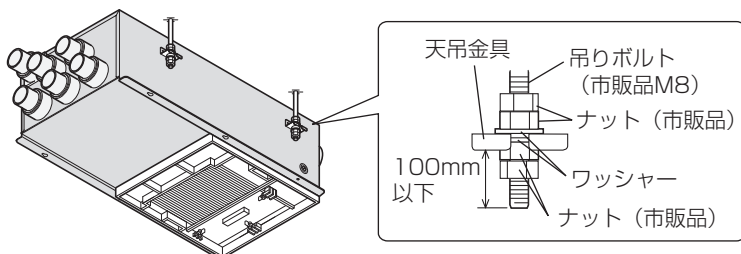
- アンカーボルトが長いと製品と干渉するおそれがあります。
- 天吊金具からのアンカーボルトのとびだしは100mm以下としてください。

本体を吊る (製品質量は12.3kgです。吊り作業は必ず2名以上で行ってください)

- (1) 市販のナットを吊りボルトに取付ける。
- (2) 吊りボルトに付属のワッシャー、天吊金具を通す。
- (3) 本体が水平になるように市販のナットで固定する。

お願い

- 本体のフランジ部下面が天井材下面より9~25mm以内に入るように本体を固定してください。
- 上記寸法を守らないとパネルが取付けられません。



野縁木枠に据付ける場合

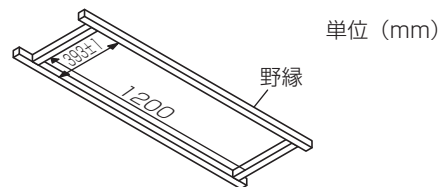
野縁を組む

野縁木枠の取付け

- 右図の寸法になるように、野縁木枠を取付ける。

お願い

- 使用する材料の角寸は40~45mmのものを使用してください。



据付方法 つづき

取付ねじの仮止め

- 本体を据付ける位置に取付ねじ（市販の皿木ねじ）4か所を仮止めする。

お願い

- 下穴をあけてから取付ねじを仮止めしてください。
- ねじは呼び径4の皿木ねじ、ねじ長さ25以上mmのものを使用してください。

— 本体を据付ける（製品質量は12.3kgです。吊り作業は必ず2名以上で行ってください）

本体の固定

- (1) 本体の天吊金具（ねじ2本×4か所）をはずす。
- (2) 本体のねじ穴4か所を通して木枠に仮止めする。

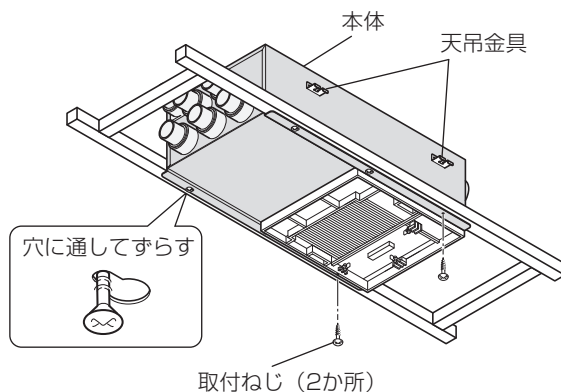
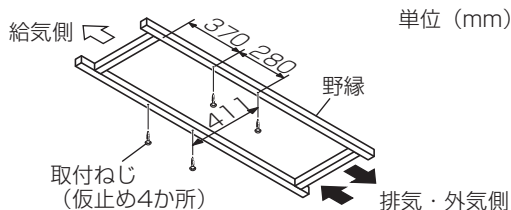


注意 ● 仮止めの状態で放置しないでください。本体が落下するとけがや本体損傷の原因になります。

- (3) 仮止めの取付ねじ4か所を増し締めして固定する。
- (4) さらに本体を取付ねじ2か所で固定する。
- (5) (1) で取りはずした天吊金具を取付ける。

お願い

- 本体がしっかり固定されたか確認してください。



ダクト接続

ダクトを接続する

- (1) 室内側、室外側ダクトと副還気ダクトをダクト接続口に差し込む。

お願い

- 室内側ダクトと副還気ダクトを間違えないよう注意してください。
- (2) ダクト接続口とダクトのすき間を市販のアルミテープで固定する。
 - (3) アルミテープの上から市販の結露防止用テープをダクト接続口の根元まで巻く。

お願い

- ダクトを接続する前にダクト内や本体内に切り粉や異物（紙、ビニールなど）が入っていないことを確認してください。

使用しない室内側ダクト接続口がある場合

- ① パイプガイドを取りはずす。
- ② 付属のキャップを使用しないダクト接続口にかぶせ市販のアルミテープで固定する。

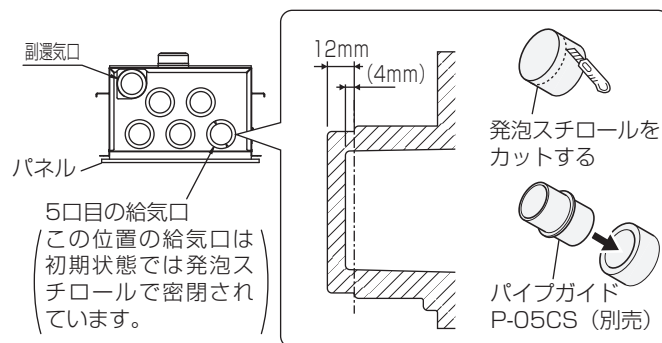
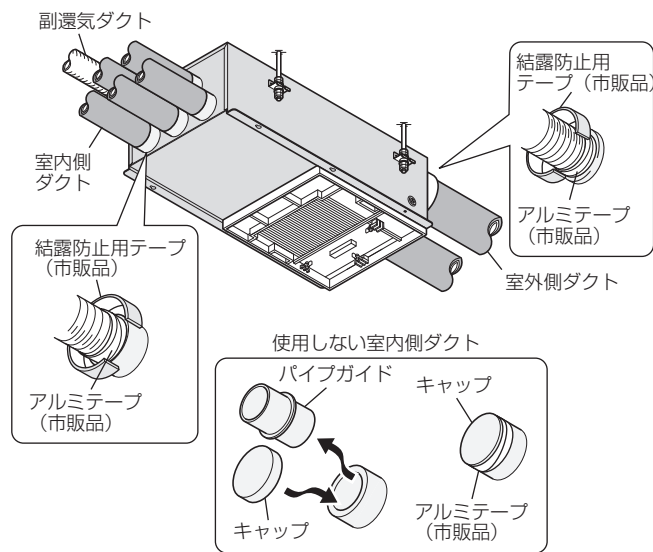
お願い

- 室内側ダクトを2本以下で使用しないでください。

5口目の給気口を使用する場合

右図の5口目の給気口は初期状態では発泡スチロールで密閉されています。使用する場合は、以下の手順で開口してください。

- ① カッターナイフなどで、発泡スチロールの先端から12mmの位置で一周カットする。
- ② 別売のパイプガイド（P-05CS）を開口部に挿入する。

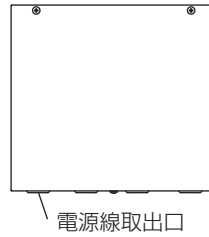


三菱HEMS接続ユニットの取付け

取付方向について

「垂直取付け」または「水平取付け」が可能です。
「垂直取付け」の場合は、必ず電源線取出口を下側に向けてください。(ほこり・水の浸入防止)

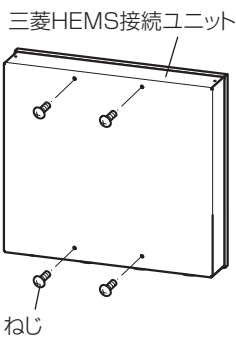
〈垂直取付け〉



〈水平取付け〉



1.三菱HEMS接続ユニット裏面のねじ4本をはずす

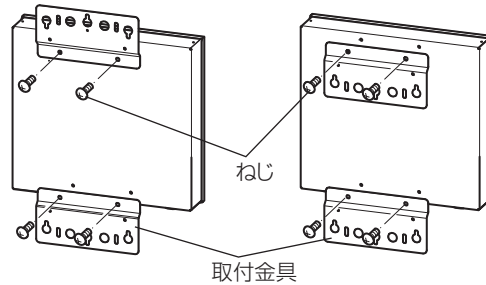


2.はずしたねじ4本で取付金具を取付ける

取付金具は下図のようにレイアウト1、レイアウト2の方向に取付可能です。三菱HEMS接続ユニットの取付場所に合わせてお選びください。

〈レイアウト1〉

〈レイアウト2〉



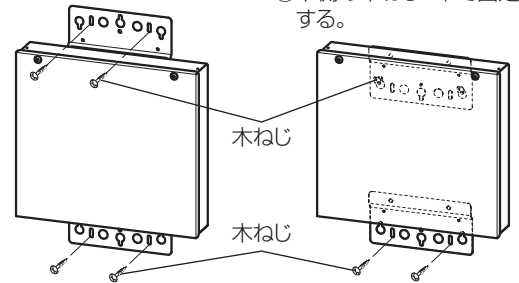
3.柱、壁、床材などに市販の木ねじ4本で確実に固定する

〈レイアウト1〉

木ねじ4本で固定する。

〈レイアウト2〉

- ①上側の木ねじ2本を柱などに取付け、引っ掛ける。
- ②下側の木ねじ2本で固定する。



電気工事



警告

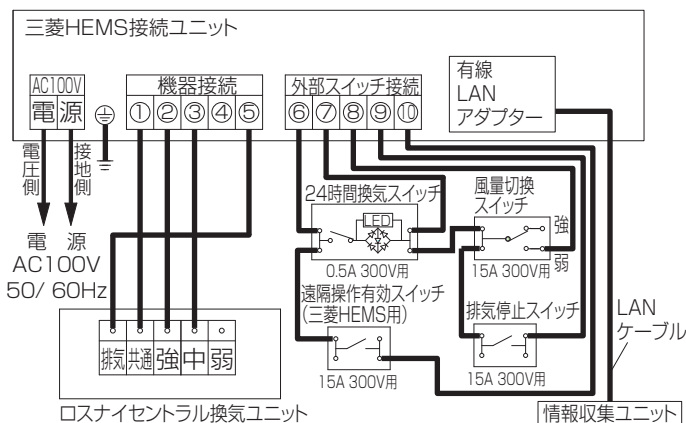
- 交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災・感電や基板破損の原因
- 指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は火災・感電の原因

お願い

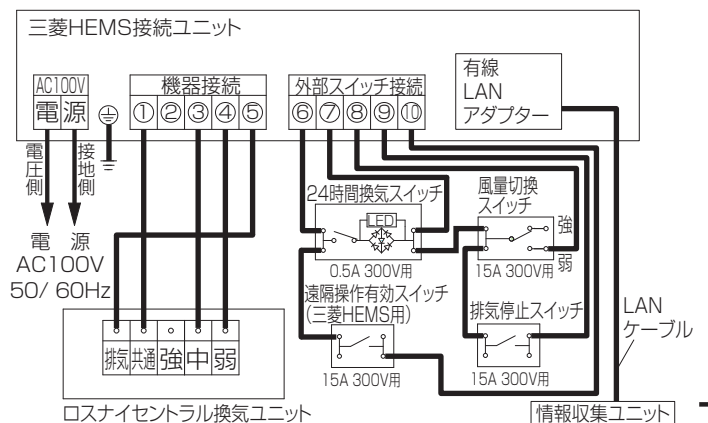
- 三菱HEMS接続ユニットと、ロスナイおよび壁スイッチ間の配線合計は、30m以内としてください。
(配線間を流れる微小電流により、誤作動する原因)
- 遠隔操作有効スイッチ（三菱HEMS用）を必ず設置してください。
- 排気停止スイッチは必要に応じて設置してください。
- 強-弱設定は使用できません。
- VVFケーブルφ1.6mm単線を使用してください。(φ2.0mmは使用できません)
- LANケーブルはストレートタイプ、カテゴリ5e以上とし、50m以下で使用してください。

結線図 ※太線部分を結線してください。

〈強-中設定の場合〉



〈中-弱設定の場合〉

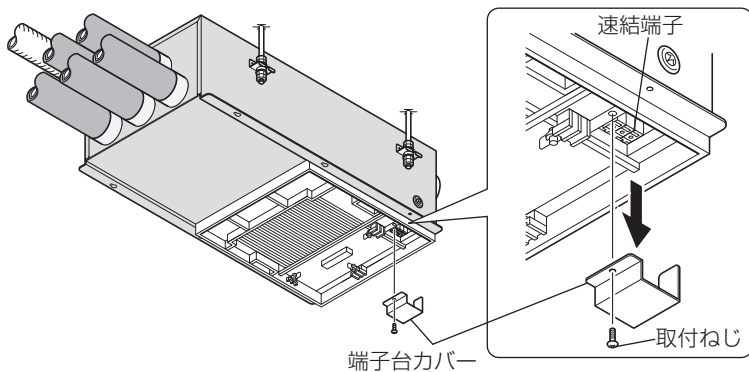


据付方法 つづき

〈本体〉

1. 端子台カバーをはずす

- ねじ1本をはずし、端子台カバーを取りはずす。

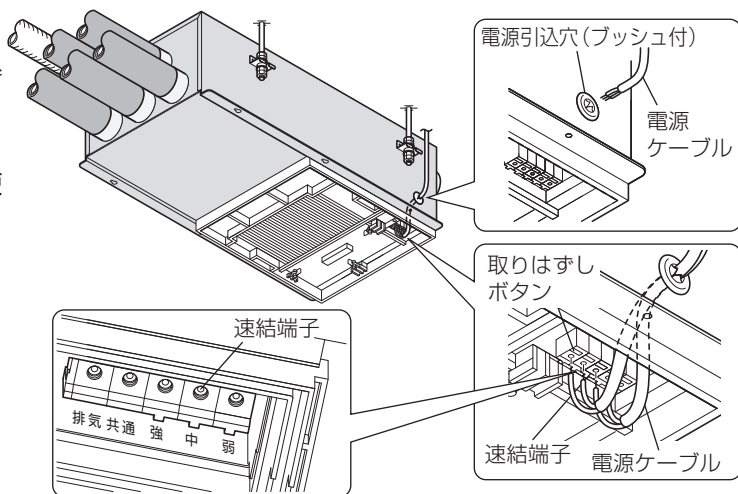
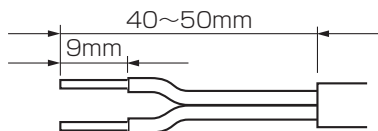


2. 配線をする

- 本体の電源引込穴のブッシュを通して電源線を引き込み、速結端子に配線する。

お願い

- 電源ケーブルはVVFケーブルのφ1.6mm単線を使用してください。(φ2.0mmは使用できません)
- 本体端子台に接続する電源ケーブルの先端は、9mm皮むきしてください。



3. 結線をする

- 太線部を結線図のとおり端子台に結線をする。
- VVFケーブルを確実に端子台に差し込み、軽く引っ張り抜けないことを確認する。

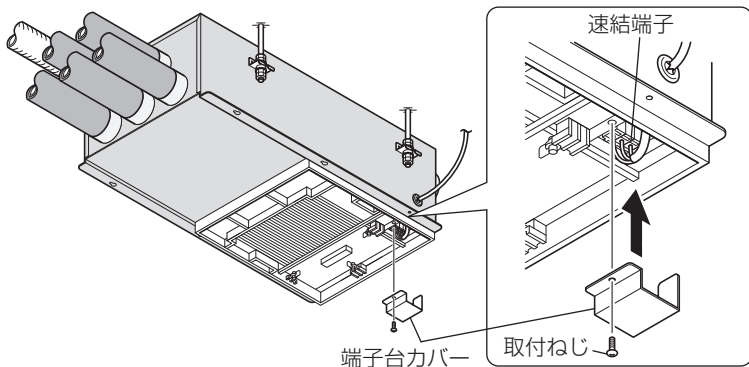
お願い

- 誤結線により、内蔵リレーのチャタリングが発生する場合があります。このとき他の電気製品(医療機器含む)に電波障害が生じる可能性がありますので、必ず結線図に従ってください。

4. 元通りに端子台カバーを取付ける

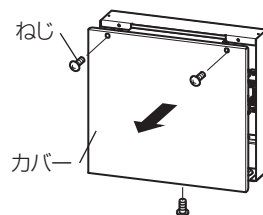
お願い

- 端子台カバーを閉じる際はVVFケーブルのはさみ込みに注意してください。



〈三菱HEMS接続ユニット〉

- 1.ねじ3本をはずしてカバーをはずす。



2.初期設定をする。

(1)遠隔操作での排気停止「あり/なし」を設定する。

- 機能設定スイッチ(SW1)の6番を「ON」または「OFF」にする
遠隔操作での排気停止「あり」：「ON」
遠隔操作での排気停止「なし」：「OFF」（工場出荷時）

(2)使用するノッチの設定をする。

- 機能設定スイッチ(SW1)の2～4番を「ON」または「OFF」にする
強一中設定：2、3番を「ON」、4番を「OFF」
中一弱設定：3、4番を「ON」、2番を「OFF」

お願い

「2、3、4、6」以外のスイッチは操作しないでください。
(すべてOFF)

(3)アドレス設定をする。

同形名の製品を複数使用する場合、アドレス設定が必要です。
(タブレット端末の表示が正常に表示されません。)
アドレス設定スイッチ(SW3)を製品毎で異なる数値に設定する。

3.結線をする。

電源線・連絡電線(機器接続用、外部スイッチ接続用)はVVFケーブルφ1.6mm単線を使用してください。(φ2.0mmは使用できません。)

(1)電源線・連絡電線を皮むきする。

電源線:12mm
連絡電線:10mm

(2)コードクリップ(3個)をはずす。

(3)端子台に電源線・連絡電線を固定する。

電源線・連絡電線をコードブッシュに通す。
結線図を参照して端子台に確実に固定し、軽く引張り
抜けないことを確認する。

(4)アース線をアースねじで固定する。

(5)端子台に力が加わらないようコードクリップで電源線・連絡電線を固定する。

(6)LANケーブルを有線LANアダプターに接続し、コードバンドで固定する。

※LANケーブルはストレートタイプ、カテゴリ5e以上とし、50m以下で使用してください。

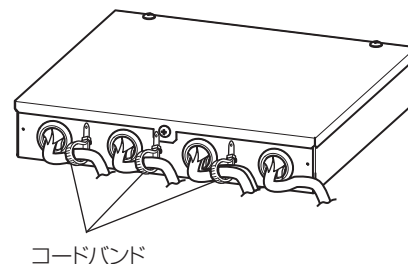
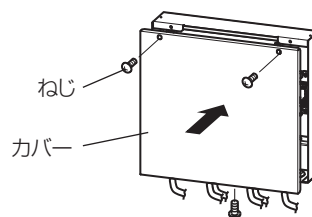
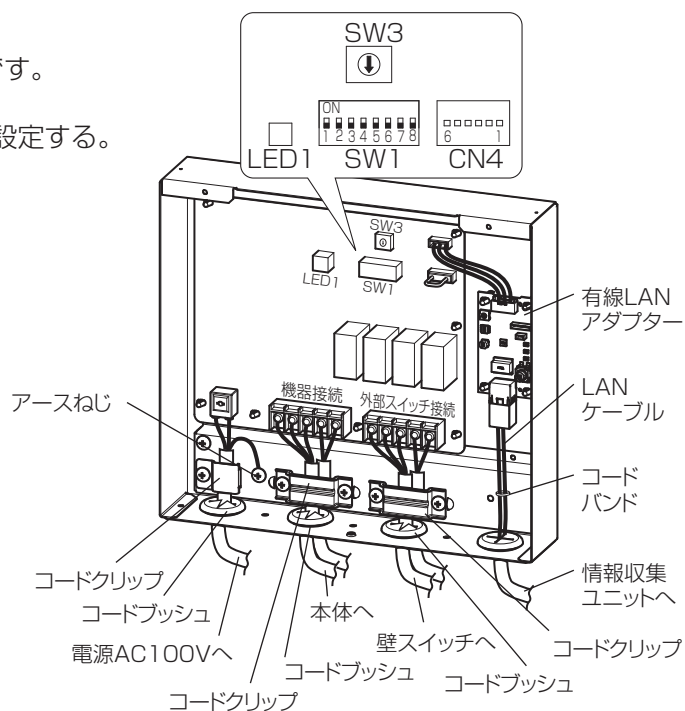
(7)アース工事を行う。

4.カバーを元通りに取付ける。

5.付属部品のコードバンドで配線を固定する。(3か所)

お願い

- 電源線・連絡電線・アース線は接続部に力が加わらないように十分な余裕を見て、たるみをもたせてください。
(端子台に力が加わると故障の原因)
- 市販のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります)
- 必ず初期設定をしてください。
- 機器接続、外部スイッチ接続へ電源(AC100V)を入力しないでください。(製品が故障する場合があります)
- 三菱HEMS接続ユニットとロスナイの連絡電線に壁スイッチを接続しないでください。(製品が故障する場合があります)



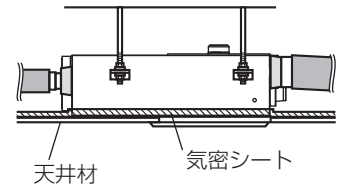
据付方法 つづき

気密シートを貼る場合

気密シートは本体の外郭金属部に市販のアルミテープで固定する

お願い

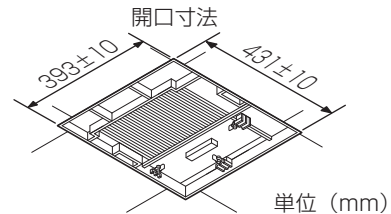
- パネルのバネを差し込む黒いプラスチック部品に固定すると部品交換ができなくなります。



天井材を張る

右図の寸法を参考に天井材の開口をあける

※開口の位置・方向は外形寸法図を参照してください。



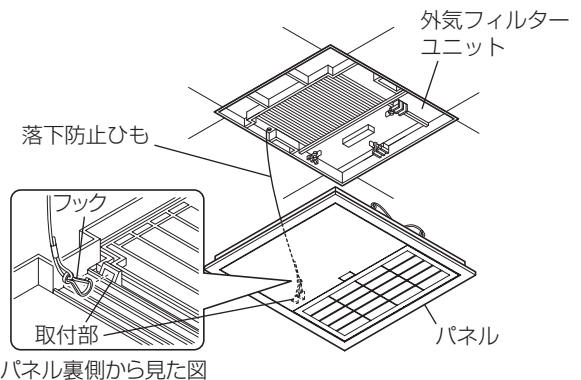
パネルの取付け

落下防止ひもの取付け

本体側にねじ止めされている落下防止ひもの先端フックをパネルの取付部に取付ける。

注意

- 先端フックがパネルの取付部に確実に取付けられたか必ず確認してください。
- 落下防止ひもがパネルと黒いプラスチック部品にかみこまないように取付けてください。



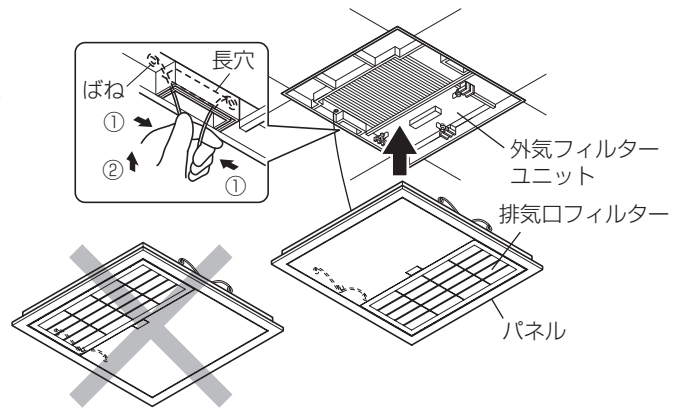
パネルの取付け

パネルにあるばね（2か所）を①本体の長穴に差し込み、②パネルを軽く上に押し上げる。

- ばねは本体側へ1か所ずつ差し込んだ方がスムーズに取付けられます。

お願い

- パネルは取付方向があります。取付けた状態で排気口フィルターの奥に外気フィルターユニットが見えることを確認してください。



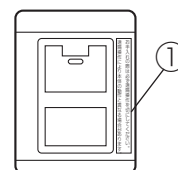
壁スイッチに付属部品のシールを貼る

- ① ● お手入れの際は必ず遠隔操作を切にしてください。
● 遠隔操作により本体の動作と異なる場合があります。
● お手入れの際に遠隔操作を無効にして頂くために表示します。
● 遠隔操作により、本体動作と壁スイッチの状態が異なる場合がありますため表示します。

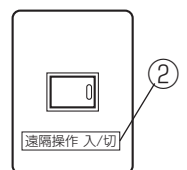
② 遠隔操作 入/切

- 遠隔操作有効スイッチ(三菱HEMS用)をしめすために遠隔操作有効スイッチ(三菱HEMS用)に表示します。

〈貼付例〉



24時間換気スイッチ



遠隔操作有効スイッチ
(三菱HEMS用)

据付け後の確認と試運転

■試運転後は遠隔操作有効スイッチ（三菱HEMS用）を「切」にしてください。

■据付け終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。

■不具合があった場合は必ず直してください。（機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません）

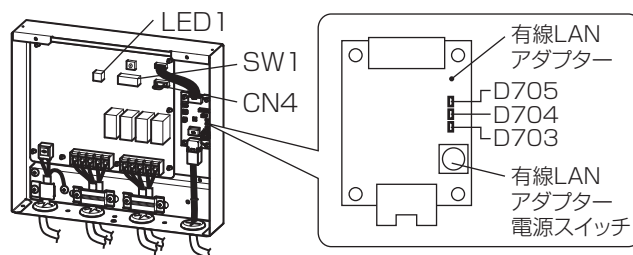
■チェック表

		チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付け	本体設置	本体の据付け強度は十分ですか？	野縁木枠や吊りボルトを固定し直します	
		本体が確実に据付けられていますか？	吊りボルト、本体固定ねじを締め直します	
		落下防止ひもが確実に取付けられていますか？	落下防止ひもの先端フックがパネルの取付部に確実に取付けられているか確認します	
		パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します	
		排気口フィルターの奥に外気フィルターユニットが見えますか？	外気フィルターユニットが見えなければパネルが逆に取付けられています。パネルを取付け直します。	
		本体およびダクト配管は断熱層・気密層の内側ですか？	断熱層・気密層の内側にします	
	ダクト接続	ダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向かって1/30以上の傾斜をつけましたか？	傾斜をつけて設置します	
		ダクト接続口は根元まで断熱しましたか？	断熱処理します	
		ダクト内に切り粉や異物（紙・ビニールなど）が入っていませんか？	異物などを取除きます	
		ダクトは還気（RA2）を除いて断熱されていますか？	還気（RA2）ダクト以外は結露防止用テープを巻きます	
		本体にダクトが正しく接続されていますか？	ダクトを確実に接続します	
	スイッチ	付属部品のシール ●お手入れの際は必ず遠隔操作を切にしてください ●遠隔操作により本体の動作と異なる場合があります 遠隔操作 入/切 を壁スイッチのパネルに貼付けましたか？	付属部品のシールを貼付ける	
		遠隔操作有効スイッチ(三菱HEMS用)が設置されていますか？	遠隔操作有効スイッチ(三菱HEMS用)を設置する	
	接続HEMSユニット	点検口は指定の位置に設置しましたか？	指定の位置に設置する	
		電圧は交流100Vですか？	交流100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
試運転中	スイッチの操作と本体動作は合っていますか？	結線図に従って結線を直します		
	タブレットで遠隔操作できますか？	24時間換気スイッチおよび遠隔操作有効スイッチ（三菱HEMS用）が「切」になっていないか？		
	異常な振動や騒音がないか？	●天吊金具や吊りボルトのゆるみがないか？ ●ダクトはずれがないか？ ●部品はずれ、破損はないか？		
	各グリルから給気または排気がされているか？	●配管内に異物混入はないか？ ●ダクトはずれがないか？ ●風量低下や異常音の原因となるような配管をしていないか？ ●ダクトが極端に曲がっていたら修復する		

据付け後の確認と試運転 つづき

- できるかぎりお客様立会いで、試運転を行ってください。
- 三菱HEMS接続ユニットの運転状態表示(LED1:赤色)を確認してください。

LED1	状態	対策
点灯	正常	—
0.1秒点滅	機種設定異常	機種設定コネクタ(CN4)が確実に差し込まれているか確認する
1秒点滅	機能設定異常	機能設定スイッチ(SW1)の設定を確認する(9ページ)



- 三菱HEMS接続ユニットの有線LANアダプターのLEDランプを確認してください。(通電後、約1分経過後に確認してください)

有線LANアダプターのランプ表示は、次のようになります。

状態	D705	D704	D703
LAN通信開始前	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LANケーブル非接続	消灯	橙色に点灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LAN通信異常	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
機器異常	—	消灯	消灯
通常時	緑色に点滅(5秒に1回)※1	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※1:2回連続して点滅

有線LANアダプターのLEDが点灯しない場合は、有線LANアダプターの電源スイッチが「ON」になっていることを確認してください。

お客様への説明

- 分電盤ブレーカーとコントロールスイッチの位置をお客様へ説明してください。
- チェック表の結果をお客様へお知らせください。
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へお渡しください。
- お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理者へ説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号